

東京地本

この4月から5月、東京は桜の満開の直前に白モクレンの大輪の花が咲き、散る頃には路上に落ちて茶色に朽ちていく。そして、紫の下がり花が藤棚に彩を添えるとツツジからアジサイ、菫薔と花々のリレーが続く。中島みゆきの「時代」で歌われる諸行無常を実感する忙しい日々を送ってきた。

中でも大変だったのは支部長さんたち。兎に角、新年度を迎えるに当たって清掃就労者の供給依頼が、文字通り殺到したのだから。3月中旬から組合員募集に奔走し、求人情報紙は元より地域への新聞折込広告、ポスティングなど本部の書

関西地本

政令指定都市を返上し、大阪市を廃止・分割することを問う住民投票は、僅差ではあるが否決された。統一地方選挙において大阪維新の会は、大阪府・市議会で第1党の議席を確保したもので、その勢いを止めるべく連合構成組織を始め、全野党が一致しての反対運動を展開した。マスコミや橋下真実のコメントーターは、高齢者の投票数に負けたと言うが、実態は若者世代の政治離れと無関心による投票所に足を運ばないことが全てである。

橋下大阪市長は大阪府知事時代より7年半、大阪市再編で特別区に権限を移

記次長と人材育成センター職員の奮闘も加えて人材確保に追われたのだ。その結果は、二ヶ月で90数名の新規組合員が加入したが、その9割方が組合員や友人知人の口コミだった。

その清掃関係の労働協約改定交渉は、昨年12月に作業員と資源車賃金引上げで妥結したが、主力の局収車については6月に持ち越しとなっている。一方、生コン協会との交渉は、4月17日に窓口就労を対象に一日額1000円アップ、60歳以上の賃金を1年引き上げで妥結し、今後継続者に対する各社交渉が残っている。

その他、交通安全講習会、各支部担当の健康診断、中央メーデー、憲法集会、アベビットラーの戦争法、労

議する大阪都構想で大阪の経済復活を訴えてきたが、その間、反対する府・市議会や知識人、マスコミ関係者への露骨極まる攻撃で、周囲を煽動する政治に終始した。自分の意志を通すために使う税金は民主主義を問うと言う大義名分でも必要な公金支出をしてきたのが実情であり、結果として経済・福祉等の住民サービスは停滞したままである。

憲法改正発議に伴う国民投票の前哨戦たる最大規模の住民投票の結果に、維新の党を利用する目論みが外れた安倍政権は戦略を立て直しを迫られている。良識ある大阪市民の戦争をさせない思いが否決を勝ち取ったと筆生は思いたい。

各地本だより

動法改悪、沖縄辺野古新基地建設などの動員、そして労供労連東京主催の将棋大会への参加もあった。

こうした生き甲斐、やり甲斐のある活動の一方、やり切れないのがネットの組合員が提訴した「事故防」への不当利得返還と損害賠償訴訟への対応だ。対外的に「ピンハネ訴訟」と事実無根の誹謗中傷を繰り返している。地獄への道は善意で敷かれているとはよく言つたもので、本人たちが正義の味方だと自負しているだけに始末が悪い。自分も執行委員、評議員という役職にしながら「新運転は奴隷労働を強いている」と真面目に嘘をばら撒いているのだから困つたものだ。

書記長 太田武二

その安倍政権は、改正派違法案を上程し労働者保護ルールの改悪と日米ガイドラインの改定合意と戦争法案の成立を急いでいるが、戦後70年に亘って固守してきた平和憲法と、戦争をさせない国を維持するための国民的大運動を労働陣営は主導し発信しなければなら

その安倍政権は、改正派

埼玉地本

今年は5月だというのに本格的な夏を想わせるような夏日が続いております。早くも熱中症の心配もでてきておりますので、体調に気をつけて就労にあたりましょう。そして6月ともなれば梅雨入り、天候に左右される生コンが主体ですので、配車する側としては憂鬱な時期となりそうです。

さて、このところの就労状況は昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動なのかは不明ですが、生コンの出荷量も一昨年の半分に留まつており、未だ伸び悩みといった状況が続いております。昨年度末で一部事業

募集広告で加盟する者の中には、残念乍ら問題行動を起こす者もあり、面接時における人物の判定能力を高めたいが、判断に迷うことが多いのが現状である。永年に亘って守ってきた高位なる技術を保持する運転者集団である新運転ブランドを維持する為にも、新規加入者の教育と指導を、更に強化しなければならないと痛感している。

執行委員長 白土武裕

協組外の事業所も周囲の様

滋賀地本

桜が散り、空に鯉のぼりが舞う本来は5月晴れの季節ですが、箱根「大涌谷」の水蒸気噴火の危険が増大し、台風の発生は近年に無く多く6号は日本列島の太平洋側をかすめた。天変地異の前兆なのか、火山、地震、台風と目が離せない状況が続きます。目を離せないと言えば安倍政権による「労働者派遣法の改悪」「安保法案提出」「原発の再稼働」「沖縄の辺野古移転問題」等々と国民無視の強行採決か？また「大阪維新の会」橋下市長民投票が5月17日に実施され約一万票の差で否決され、橋下代表率いる「大阪維新の会」の政策に於ける方向性も頓挫した事になり「維新」全体への影響も相当あ

に鯉のぼりが舞う本来は5月晴れの季節ですが、箱根「大涌谷」の水蒸気噴火の危険が増大し、台風の発生は近年に無く多く6号は日本列島の太平洋側をかすめた。天変地異の前兆なのか、火山、地震、台風と目が離せない状況が続きます。目を離せないと言えば安倍政権による「労働者派遣法の改悪」「安保法案提出」「原発の再稼働」「沖縄の辺野古移転問題」等々と国民無視の強行採決か？また「大阪維新の会」橋下市長民投票が5月17日に実施され約一万票の差で否決され、橋下代表率いる「大阪維新の会」の政策に於ける方向性も頓挫した事になり「維新」全体への影響も相当あ

桜が散り、空に鯉のぼりが舞う本来は5月晴れの季節ですが、箱根「大涌谷」の水蒸気噴火の

所が撤退するなど更に厳しい事も増してはきておりますが、オリンピックに向けた動きもようやく出てきておりますし、やはり運転手不足の状況は個々の事業所の需要人数の伸びにもあらわれていますように感じられます。今後、供給不足といった事にならぬよう状況を的確に判断し、組織の強化拡大を図つていきたいと思っております。

最後になりますが、埼玉地本は来る6月28日、さいたま市にあります「ときわ会館」で第43回定期大会を開催いたします。本大会は中間大会ですので前大会を踏まえた形になると思いますが、この1年の総括と先を見据えた運動方針の下、

さて、滋賀地本は5月30・31日の土日を利用して、自費で第10回の役員研修会を島根県の玉造温泉で開催する予定です。現在の組合員不足や労供業種の拡大など厳しい状況に対応する為に何をすべきか、これまでの労供業種の変遷を振り返りながら労供権に関する行政、法律など日常的に必要な知識を研修し、役員一人ひとりがトングリーダーであり、トップセールスマンとして活動できる事を目指したいと思っています。

尚、現在の組織現況につきましては殆ど大きな変化はありません。これから夏の日が多くなると思いますが、熱中症など健康管理に気をつけながら、お互い頑張りましょう。

書記長 田中 浩

るだろうと思われる。さて、滋賀地本は5月

陽屋の海外旅行

「麗しのバルト三国」(その二)

河合 明博 (元新産別委員長)

△お客様の有り難さ△

12月の初め、朝8時にならないと陽は昇らず、午後3時には日が沈み始める。これに馴染むのは容易でない。しかし、現地の人にとつては当たり前のこと、暗い中でも車は構わずにスピードを出して走る。ほとんど街路灯のない片側一車線のところでも変わることはない。さすがというべきか。三カ国とも平坦なところが圧倒的に多い。気温は3度から零下16度くらいだった。風の有無で体感温度は大きく変わる。寒い日は、足下がよく滑る。大学の街タルトゥから南下するルート沿いの両側は、綺麗な樹木が広がっていた。蔵王などのそれとは違い、粉砂糖をまぶしたようでなかなか美しい。12月に入つていたため、三が所以上のク

△お目覚めの朝△

クリスマス・マーケットを見ることができた。開いたばかりのところもあり、本当ににぎわいはこれからと思われたが、ヘルシンキのマーケットはウイーンやドイツのそれと比較すべくもないが、背後に大聖堂があり、メリーゴーランドもあつて、なかなか雰囲気だった。

△覚えきれない世界遺産△

今回、いくつの世界遺産を見たのか、数えきれない。教会と城跡。特徴的な大学の街(タルトゥ)。全体として中世の街を足早に駆け巡った感がある。

エトアニアの首都タリンは旧市街がそっくり世界遺産である。旧市庁舎、聖ニコライ教会、聖オレフ教会の高い塔など、魅力ある紋写体が多く写真を撮つてると説明が頭に入らない。

△杉原 千畝△

在カウナス 領事代理杉原千畝氏。戦時中、本国の外務省の意向に背いて日本を経由して第三国へ渡る査証を発行し続け、6000人のユダヤ人の命を救った気骨の人として知られる。知っている人にはツア―を選んだ目的の一つでもあるので、後で若干詳しく記したい。「十字架の丘」はかなり有名だからご存知の方もおられようが、何とも奇妙なものである。1831年、ロシアへの蜂起で処刑された人のために立てられた十字架が発端といわれる。いくら取り払われても、また立てられ、それを繰り返して大きくな

クリスマス・マーケットを見ることができた。開いたばかりのところもあり、本当ににぎわいはこれからと思われたが、ヘルシンキのマーケットはウイーンやドイツのそれと比較すべくもないが、背後に大聖堂があり、メリーゴーランドもあつて、なかなか雰囲気だった。

△覚えきれない世界遺産△

今回、いくつの世界遺産を見たのか、数えきれない。教会と城跡。特徴的な大学の街(タルトゥ)。全体として中世の街を足早に駆け巡った感がある。

エトアニアの首都タリンは旧市街がそっくり世界遺産である。旧市庁舎、聖ニコライ教会、聖オレフ教会の高い塔など、魅力ある紋写体が多く写真を撮つてると説明が頭に入らない。

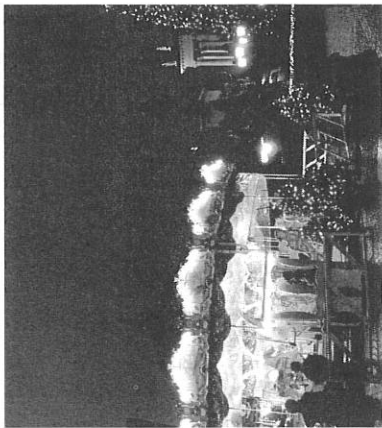
△杉原 千畝△

在カウナス 領事代理杉原千畝氏。戦時中、本国の外務省の意向に背いて日本を経由して第三国へ渡る査証を発行し続け、6000人のユダヤ人の命を救った気骨の人として知られる。知っている人にはツア―を選んだ目的の一つでもあるので、後で若干詳しく記したい。「十字架の丘」はかなり有名だからご存知の方もおられようが、何とも奇妙なものである。1831年、ロシアへの蜂起で処刑された人のために立てられた十字架が発端といわれる。いくら取り払われても、また立てられ、それを繰り返して大きくな

ラトヴィアの首都リガも旧市街の歴史地区が世界遺産に登録されている。13世紀からハンザ同盟の港町として栄えたと言う。聖ペテロ教会、大聖堂など貴

重な建造物も牧養に暇がない。それぞれに田舎があり、建築物としての評価も高く、著名な壁画もある。説明していたら紙幅が尽きる。ここでは、かつて航空機が格納庫だったという巨大な中央市場に案内されたのも楽しかった。高い天井の棟毎に野菜、肉、魚などと別れていて、整然と区分けされた店が並び、清潔で、当然のことながら愛想がいい。ついつい買つてしまい、時間が足りないくらいだった。

リトアニアの首都ヴィリニユスの歴史地区も世界遺産。バロック様式のカトリック教会だらけと言つては不見識と叱られようが、偽らざる感想である。ここでは「杉原記念館」と、「十字架の丘」について触れない訳にはいかないが、杉原記念館については、このツアーを選んだ目的の一つでもあるので、後で若干詳しく記したい。「十字架の丘」はかなり有名だからご存知の方もおられようが、何とも奇妙なものである。1831年、ロシアへの蜂起で処刑された人のために立てられた十字架が発端といわれる。いくら取り払われても、また立てられ、それを繰り返して大きくな



たそうだ。今では、人を葬るというより、様々な願いを込めて、十字架を立てているようで、観光客も立てることができる。無数としか言い様のない様々な十字架が丘を覆つていて壮観ではある。訪れた時は、既に日は落ち、来るひとが少なかったせいか観光案内所が時間より早く店仕舞いをしてしまつていたので、常夜灯の明かりを頼りに、ともかく一回りしたが余り気持ちの良いものでは無かった。

△杉原 千畝△

在カウナス 領事代理杉原千畝氏。戦時中、本国の外務省の意向に背いて日本を経由して第三国へ渡る査証を発行し続け、6000人のユダヤ人の命を救った気骨の人として知られる。知っている人には説明を要しまいが、知らない人に説明するのは至難なことである。何故リトアニアのカウナスに日本領事館があつたのか、から説き起こさなければならないが、ここでは省略させて頂く。ただ、旧日本領事館が今も保存、公開され、杉原氏の功績が語り次がれていることは特筆に値することだ。

(続く)



「ジョン・ラーベと南京のシンドラー」上映会開催!

1937年12月、日本軍の南京侵攻時の大虐殺に対して、安全区をつくり市民の安全、命を守ろうとしたドイツ人を主人公にした中国映画。国際的に高い評価を得ているにも拘らず、日本では公開されなかった問題作。敗戦70年にあたる今年、労働組合の仲間を初め歴史研究、ジャーナリズム、文化、市民運動で活躍する方々を中心に実行委員会が出来、来る7月20日に竹橋

の日本教育会館で上映会が開かれる。安倍首相が、8月15日侵略戦争と植民地支配を否定し、正当化する談話が相定され、労働法制から戦争立法へと戦後の平和・人権・環境を守つてきた憲法体制を破壊しよう

に賛同して多くの組合員が参加するよう期待したい。